

久喜駅西口周辺まちづくり説明会 意見交換

<項目別>

1. 市街地再開発事業に関すること

<意見:再開発事業の必要性について>

多くのバスが県道に停車していて、自転車や歩行者などの通行者の死角となり、今まで事故がないのが不思議なぐらいだ。

再開発事業で整備されたビルで営業する際の家賃などの心配はあるが、久喜市の発展や安全・安心なまちづくりのためには再開発事業は必要なものだ。

<回答>

久喜駅西口の交通混雑は市も課題と認識しておりますので、まちづくりを進めていく中で、改善が図られるよう検討してまいります。

<意見:勉強会等について>

権利者を対象に再開発事業の勉強会を開催してほしい。

再開発事業は多額の事業費が見込まれるが、市の財政状況が心配だ。

<回答>

再開発事業の仕組みなどまちづくりの理解を深めていただくよう権利者の会において勉強会を開催することを考えております。

再開発事業については、バスターミナルの応分の負担など市の負担もありますが、主な財源は土地の高度利用によって新たに生み出されるマンションの床などを売却して得る費用が大半を占めるものです。

<意見:事業の進め方について>

再開発ビルの賃料は一般的に現在の賃料よりも高くなることから、再開発ビルでの営業は反対だ。

また、事業は、2／3以上の同意で進められるが、100%が望ましいと考えるがいかがか。

<回答>

再開発事業など具体的な内容は、今後設立される見込みの権利者の会で検討いただくことになります。皆様のご理解がなければ、事業を実施することは難しいものでございますので、丁寧な説明に努めてまいります。

2. 交通混雑に関すること

<意見:バスターミナルの必要性について>

今後、工場での作業の自動化などによって、従業員が減少していくと思われるが、バスターミナルは必要なのか。

<回答>

工場での作業の効率化によって、各企業の従業員数の減少は考えられるところですが、圏央道の開通により郊外での産業団地の造成は今後も考えられることや現時点でも交通混雑は地域の課題ですので、バスターミナルは必要なものと考えております。

<意見:交通混雑に対する対策について>

久喜駅西口の交通混雑の解消に向け、企業バスの集約化など直ぐにできる対策はないのか。

<回答>

企業バスを減少させる方法として、路線バスの活用や各企業のバスの集約化などが考えられますので、引き続き、協議会で検討してまいります。

また、短期的な対策は関係部署と連携を図り検討してまいります。

<意見:バスターミナルの大きさについて>

バスターミナルの大きさはどれくらいになるのか。

<回答>

現時点では、検討している段階で、今後、権利者の会や協議会と意見交換を行いながら決定してまいりたいと考えております。

3. 権利者の会に関すること

<意見:権利者の会の設立方法等について>

市民として、地域の交通混雑を解消し、市の発展のためにはまちづくりは必要だ。

権利者の会はどのように設立し、どのような活動内容を行うのか。

<回答>

権利者の会は、地域をまとめる発起人の方々により設立していただくものです。

今後、発起人の方々から、権利者の皆様に対しまして、意向確認や初回の開催通知をご案内していただくものと考えております。

<意見:権利者の会の早期設立について>

現在の場所で100年以上営業しているので、土地に対して非常に思い入れがあるが、このまちづくりを実現したい。

私の先代は次世代に負担をかけたくないという思いから、以前、再開発に向け尽力したものの実現できなかったと聞いている。

このタイミングを逃すと再開発ができなくなってしまうので、早急に権利者の会を設立していただきたい。

<回答>

まちづくりを進めていく上で、権利者の会は必要なものと考えております。

スピード感のあるまちづくりに繋がるよう、設立に向け調整を図ってまいります。

<意見:権利者会の対象人数について>

銀座商店会内では建物が老朽化しているので、今が再開発のチャンスだ。

権利者の会の人数はどれくらいか。

<回答>

権利者の会の対象者は60名程度です。まちづくりの推進を図るためには、一人でも多くの方に権利者の会で活動いただきたいと考えております。

<意見:権利者の会発起人の申し出について>

私は、権利者の会の発起人になりたいと考えている。意見がある方は私まで連絡して欲しい。

今後、権利者の会の設立に向け、権利者の皆様のお宅を一軒一軒回り説明してまいりたいと考えているので、参加をお願いします。

4. その他まちづくりに関すること

<意見:まちづくりに対する意見について>

私の家は老朽化が進み建て替えを行っているのでまちづくりには協力できない。

以前区域から除外してほしい旨の文書を出したが、文書での回答がない。

これまでの検討結果をみるとあまり進んでいないように見受けられる。

協議会も商工業に都合のいいように進められているように思われる。

<回答>

文書は受理しておりますが、令和4年度に実施したアンケート調査で、回答のあった方の9割方のご賛同があったことから、この度の区域としました。他市の事例でも事業を行う際に区域から外れる方もおられますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

事業の進捗については、基本計画の策定にあたり、先進地の事例などを勉強しながら、慎重に検討を行ってきたことから、時間がかかったものです。

この度のまちづくりでは、商工業の団体から要望書の提出があったことをきっかけに始まったもので、地域の課題である賑わいの創出や交通混雑の解消を図るためには、商工業の関係者との連携が必要なことから、初期の段階では、商工会の検討会に市も参加し検討を進めました。一方で、令和4年11月に開催した区域選定のための説明会やアンケート調査などにおいて、権利者の皆様のご意見を確認しながら、まちづくりの検討を進めております。

<意見:ゆとりある環境について>

バスが停車していた場所ではタバコの吸い殻などのごみが散乱しているので清掃している。

また、バスはエアコンをつけたまま停車しているので、排ガスが心配だ。

県道の歩道を横並びで歩く方々がいて、通行の妨げになっている。

もっとゆとりのある環境を確保できるよう検討してほしい。

<回答>

具体的な検討は、権利者の会で行っていきますので、よろしければご参加いただき一緒に検討できればと考えております。